

点呼時のマスクが、 なぜ、「着用禁止」なのだ！！

4月21日の始業点呼終了後、点呼時にマスクを着用していた一部の東海労組合員や他労組組合員に対して会社は、「今後、点呼時にマスクを着用しないように」と個別に口頭で指示している。その「点呼時にマスクを着用しないように」の会社の指示に対して、組合員からは「風邪をひいている」、「花粉症で苦しい」、「マスクをする根拠がある。なぜ、マスクが駄目なのか」、「いつから」、「どこで」、「何のために」、「何で、個別に指示するのか」などの疑問が出ていた。

また、22日の管理者は「上からの指示、風邪をひいていても点呼時のマスクは禁止です」と、23日の管理者は「風邪をひいていて、人に移ると思われる時は点呼前に申し出て、管理者がマスクの着用は可能であるか否かを判断し、許可を貰った上でマスクの着用を認めます。それ以外は着用を禁止する」という管理者によって対応が違いバラバラの内容であり、「何で、個別に指示するのか」、「何のために」との疑問には明確な説明が無く、会社に対する不信や不満、怒りの声が高まっている。

「会社の上が決めた事だから」と現場管理者！！

そして組合員からは、「これまで点呼時にマスクの着用に対して、現場管理者から一度たりとも注意や指導を受けた事など無いのに何故だ」の問いに対して、現場管理者は「20日に、新幹線鉄道事業本部検修課の岡部課長が『ゴールデンウィーク安全安定輸送完遂』の為の職場点検として、夜勤の点呼に立ち会い点呼時にマスクを着用していた社員がいた事が問題となり、点呼時の指摘事項である」という内容であった。

会社は点呼等で、「体調の優れない方が居ましたら、すぐに管理者まで申し出てください」などと、あたかも社員の健康や社員を大切にする良き会社であるように描き出している。しかし、会社がいくら間違っただけであっても上司の「指摘事項」や「命令」が絶対であり、「命令と服従」、「規律と忠誠心」という職場における現場社員の人間性をも否定するJR東海会社の基本姿勢である。

組合員の皆さん！！ 職場の皆さん！！

見方を変えれば「世の中不景気で、仕事をしたくても仕事が無くてブラブラしている者が一杯居るんだぞ！お前だけ一人くらい居なくても....」と言っているように思いませんか？
そして、会社の言っている事や行っている事が矛盾しているとは思いませんか！

会社はこのような行為を直ちにやめろ！